

都道府県名	
消防本部コード	
消防本部名	

東日本大震災における救急活動の実態に関する調査

1. 東日本大震災における被害の有無、緊急消防援助隊（救急部隊）等の出動や受入れの状況についてお伺いします。

問 1 貴消防本部管轄内では、東日本大震災による被害がありましたか。
 また、貴消防本部は、東日本大震災に際して、緊急消防援助隊（救急部隊）や相互応援協定に基づく応援のための部隊（以下「緊急消防援助隊等」という。）を出動させましたか。
 あてはまる番号を1つ入力してください。

- 1. 被害があり、緊急消防援助隊等を出動させなかった →問2へお進みください。
- 2. 被害があったが、緊急消防援助隊等を出動させた →問2へお進みください。
- 3. 被害はなく、緊急消防援助隊等を出動させた →問3へお進みください。
- 4. 被害はなく、緊急消防援助隊等を出動させなかった
 →本アンケートはこちらで終了です。所定の方法でご返送ください。

回答	
----	--

問 2 (問1で「1」「2」を選択した方)
 貴消防本部は、緊急消防援助隊等を受け入れましたか。あてはまる番号を1つ入力してください。

- 1. 受け入れた →枝問2-1へお進みください。
- 2. 受け入れなかった →問3へお進みください。

回答	
----	--

枝問2-1 (問2で「1」を選択した場合)
 貴消防本部の職員で、緊急消防援助隊（救急部隊）等と同一の車両に同乗するなど、共に活動した方はいましたか。

- 1. いた
- 2. いなかった

回答	
----	--

枝問2-2 (枝問2-1で「1」を選択した場合) 共に活動した内容、共に活動して有効だった点など具体的に入力してください。

(共に活動した内容、有効だった点)

回答	
----	--

2. 東日本大震災に係る医療活動における特定行為の実施についてお伺いします。

問3

貴消防本部では、3月11日から16日までの間に、何人の傷病者に対して、医師の指示がない特定行為を実施しましたか。貴省棒本部管轄内における活動、緊急消防援助隊等としての活動、
 についてはまる数字を入力してください。
 実施していない場合は「0（ゼロ）」を入力してください。

貴消防本部管轄内 における活動 (問1で「1」 「2」を選択した 場合)	特定行為 (医師の指示がなかったもの)	回答	
	ア 静脈路確保		人
	イ 薬剤投与		人
	ウ 気管挿管		人
	エ 気管挿管以外の気道確保		人
	オ エピペン		人

緊急消防援助隊等 としての活動 (問1で「2」 「3」を選択した 場合)	特定行為 (医師の指示がなかったもの)	回答	
	ア 静脈路確保		人
	イ 薬剤投与		人
	ウ 気管挿管		人
	エ 気管挿管以外の気道確保		人
	オ エピペン		人

問4

貴消防本部では、3月17日から25日までの間に、何人の傷病者に対して、医師の指示がない特定行為を実施しましたか。貴省棒本部管轄内における活動、緊急消防援助隊等としての活動、
 についてはまる数字を入力してください。
 実施していない場合は「0（ゼロ）」を入力してください。

貴消防本部管轄内 における活動 (問1で「1」 「2」を選択した 場合)	特定行為 (医師の指示がなかったもの)	回答	
	ア 静脈路確保		人
	イ 薬剤投与		人
	ウ 気管挿管		人
	エ 気管挿管以外の気道確保		人
	オ エピペン		人

緊急消防援助隊等 としての活動 (問1で「2」 「3」を選択した 場合)	特定行為 (医師の指示がなかったもの)	回答	
	ア 静脈路確保		人
	イ 薬剤投与		人
	ウ 気管挿管		人
	エ 気管挿管以外の気道確保		人
	オ エピペン		人

問5

医師の指示がとれなかったため、特定行為の実施に躊躇した事例はありましたか。
また、医師の指示がとれなかったため、医師の指示なく特定行為を実施したが、その結果、
傷病者に問題が生じた事例はありましたか。あてはまる番号を1つ入力してください。

ア 医師の指示がとれないため、特定行為の実施に躊躇した事例

1. あった
2. なかった

回答

イ 医師の指示なく特定行為を実施したが、その結果、傷病者に問題が生じた事例

1. あった
2. なかった

回答

枝問5-1 (問5「ア」あるいは「イ」で「1」を選択した場合) 事例の内容を具体的に入力してください。

(事例の具体的内容)

回答

問6

特定行為に関する指示を得る医師を、出勤前に決めていましたか。
あてはまる番号を1つ入力してください。

1. 災害対策本部が指定する医師から指示を受けることに決めていた
2. 活動地域のメディカルコントロール体制下において医師から指示を受けることに決めていた
3. 貴消防本部が指定する医師から指示を受けることに決めていた
4. その他
5. 事前に決めていなかった

回答

(その他の場合)
具体的に

問7

特定行為の実施について、どのプロトコルを使用しましたか。
あてはまる番号を1つ入力してください。

1. 貴消防本部が定めているプロトコル
2. 災害対策本部が指定したプロトコル
3. その他
4. 特定行為を実施しなかった

回答

(その他の場合)
具体的に

3. 東日本大震災に係る救急搬送における病院選定の状況についてお伺いします。

問8

通常の情報通信網が途絶していた時、病院への搬送連絡はできましたか。
あてはまる番号を1つ入力してください。

1. 全ての搬送事例について、病院への搬送連絡を行うことができた
2. ほとんどの搬送事例について、病院への搬送連絡を行うことができた
3. 搬送連絡ができた事例とできなかった事例が約半数ずつだった。
4. ほとんどの搬送事例について、病院への搬送連絡を行うことができなかった
5. 全ての搬送事例について、病院への搬送連絡ができなかった
6. 情報通信網が途絶していた時はなかった

回答

枝問8-1 (問8で「2」から「5」を選択した場合) 病院への搬送連絡ができなかった場合、
どのように搬送を実施しましたか。具体的に記入してください。

(具体的な搬送実施方法)

回答

問 9

搬送連絡に際して、どのような通信手段を持っていましたか。
ア～クの各項目について、あてはまる番号を1つずつ入力してください。

1. 持っていた 2. 持っていなかった

通信手段	回答
ア 携帯電話	
イ PHS	
ウ 衛星携帯電話	
エ 消防救急無線	
オ 防災行政無線	
カ MCA無線	
キ 地元消防本部を通じての連絡	
ク その他	
(その他の場合) 具体的に	

枝問 9-1 搬送連絡に際して有効な通信手段は何でしたか。
ア～クの各項目について、あてはまる番号を1つずつ入力してください。

1. 有効だった 2. 有効ではなかった

通信手段	回答
ア 携帯電話	
イ PHS	
ウ 衛星携帯電話	
エ 消防救急無線	
オ 防災行政無線	
カ MCA無線	
キ 地元消防本部を通じての連絡	
ク その他	
(その他の場合) 具体的に	

問 10

緊急消防援助隊等を出動させた消防本部（問1で「2」「3」と回答した場合）

にお伺いします。出動させていない消防本部は、問11にお進みください。

どのような手段を用いて搬送先医療機関の情報を入手しましたか。
ア～エの各項目について、あてはまる番号を1つずつ入力してください。

1. 使用した 2. 使用しなかった

情報収集手段	回答
ア EMIS	
イ 緊急消防援助隊調整本部が作成した医療機関リスト	
ウ 地元消防本部が作成した医療機関リスト	
エ その他	
(その他の場合) 具体的に	

問 1 3 他隊との安全管理協力は行われていましたか。当てはまる番号を1つ入力してください。

1. 行われていた 2. 行われていない

回答	
----	--

枝問 1 3 - 1 (問 1 3 で「1」を選択した場合) どのような形で協力しあっていましたか。具体的に記入してください。

(具体的な協力内容)

回答	
----	--

枝問 1 3 - 2 (枝問 1 3 で「2」を選択した場合) 他隊との協力ができなかった理由は何ですか。具体的に記入してください。

(具体的な協力内容)

回答	
----	--

6. 東日本大震災における救急活動で使用した資器材について

問 1 4 東日本大震災における救急活動において、不足していた資器材は何ですか。ア～コの各項目について、あてはまる番号を1つずつ入力してください。

1. 非常に不足していた 2. 不足していた 3. 不足していなかった (充足していた)

救急活動用資器材分類	回答
ア 酸素ボンベ (携帯用酸素)	
イ 除細動バッテリー	
ウ 挿管チューブなど特定行為で使用する資器材	
エ ネットカラーなど固定資器材	
オ ガーゼなど創傷等保護資器材	
カ 手袋、マスクなど感染防止資器材	
キ 消毒用資器材	
ク 毛布、タオルケットなど保温資器材	
ケ トリアージタグ	
コ その他	
(その他について) 具体的に	

問 15 東日本大震災における救急活動において、特に有用だった資器材はありましたか。

1. あった

2. なかった

回答	
----	--

枝問 15-1 (問 15 で「1」を選択した場合)

特に有用だった資器材の品名、有用だと考えた理由を入力してください。
また、その資器材をどのように活用したかについても入力してください。

	回答
特に有用だった資器材の品名	

(有用だと考えた理由)

回答	
----	--

(有用だと考えた資器材の活用方法)

回答	
----	--

事 務 連 絡
平成 23 年 8 月 日

東日本大震災被災県
消防防災主管部（局）長 殿

消防庁救急企画室長

「災害拠点病院における通信機器に関するアンケート調査」
に対する協力について（依頼）

消防庁では、東日本大震災による教訓を消防救急行政に反映させるため、「災害時における救急業務のあり方に関する作業部会」を開催しているところですが、今般、消防と医療の連携の実態を把握するため、東日本大震災被災県の災害拠点病院に対して別紙のとおりアンケート調査を実施することとなりました。

つきましては、貴県保健衛生担当部局等と連携され、本調査が円滑に進むようご協力されますようお願いいたします。

なお、本調査の集計・分析については、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託していることを申し添えます。

問い合わせ先
消防庁救急企画室
担当：谷本・鮫島・橋口
電話：03-5253-7529
s.hashiguchi@soumu.go.jp

事 務 連 絡
平 成 23 年 8 月 ● 日

(災害拠点病院長) 様

消防庁救急企画室長

「災害拠点病院における通信機器に関するアンケート調査」
の協力について (依頼)

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より消防救急行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、消防庁では、東日本大震災による教訓を消防救急行政に反映させるため、「災害時における救急業務のあり方に関する作業部会」を開催しているところですが、今般、消防と医療の連携の実態を把握するため、アンケート調査を実施することとなりました。なお、本調査の集計・分析については、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託しております。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、趣旨をご賢察の上、ご回答のほど、よろしくお願いいたします。

記

1. 目的

全国の災害拠点病院における消防機関との通信手段の設置状況及び今後の必要性を把握するため

2. 調査対象

青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県
の災害拠点病院 71 病院
(平成 23 年 7 月 1 日現在)

3. 記入者

災害時対応の責任者

4. 回答方法

別紙に記載し、FAX (03-6711-1291) にてご送信ください

5. 回答期限

平成 23 年 ● 月 ● 日 (●)

問い合わせ先
消防庁救急企画室
担当：谷本・鮫島・橋口
電話：03-5253-7529
s.hashiguchi@soumu.go.jp

災害拠点病院における通信機器に関するアンケート調査

返信先 FAX：03-6711-1291

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 経済・社会政策部内 調査事務局宛)

所在 都道府県		病院名・部署名・役職		
許可 病床数	床	医師数	常勤換算	人
				H22年救急搬送患者受入数
				人

以下の設問について、回答欄に、あてはまる番号を全て記入してください。

また、「その他」を選択した場合は、具体的内容も記入してください。

問1 貴院の通信機器の設置状況、東日本大震災時に使用した通信機器についてご記入ください。

- ①：貴院に設置されている通信機器 (回答欄：)
- ②：①のうち、消防機関との通信・連絡の際に使うことができる通信機器
(回答欄：)
- ③：①のうち、市町村防災部局との通信・連絡の際に使うことができる通信機器
(回答欄：)
- ④：②、③のうち、東日本大震災の対応に役立つ通信機器 (回答欄：)

1. 固定電話	2. 災害時優先電話	3. FAX	4. 電子メール
5. 携帯電話	6. PHS	7. 衛星携帯電話	8. 消防救急無線
9. 防災行政無線	10. MCA無線	11. その他 ()	12. 特になし

枝問1-1 <<問1①で「8」「9」を選択した方のみ>>無線従事者をどのようにして確保しましたか。

(回答欄：)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 職員に免許を取得させた (病院が費用負担) | 2. 職員に免許を取得させた (職員が費用負担) |
| 3. 有資格者を新たに採用した | 4. その他 () |

枝問1-2 <<問1②で「8」を選択した方のみ>>どこに連絡するために消防救急無線を設置したのですか。

(回答欄：)

- | | | | |
|-------------|---------|---------|------------|
| 1. 消防指令センター | 2. 各救急隊 | 3. 防災ヘリ | 4. その他 () |
|-------------|---------|---------|------------|

問2 今後、大規模災害時に情報通信網が途絶した場合であっても、消防機関や市町村防災部局と共有したい情報は何か。(回答欄：)

- | | | |
|-----------------------|--------------------|----------------|
| 1. 搬送される傷病者の情報 | 2. 今後搬送される傷病者数の見込み | 3. 近隣医療機関の被害情報 |
| 4. 近隣医療機関の傷病者受入に関する情報 | 5. 多数傷病者の発生場所 | |
| 6. 貴院に対する避難指示等の情報 | 7. その他 () | |

問3 今後、消防機関あるいは市町村防災部局との通信・連絡のために、新たに導入・増設予定の通信機器、予定はないが、導入・増設したい通信機器は何ですか。

【消防機関との連絡通信】

- ①新たに導入・増設予定の通信機器 (回答欄：)
- ②予定はないが、導入・増設したい通信機器 (回答欄：)

【市町村防災部局との連絡通信】

- ③新たに導入・増設予定の通信機器 (回答欄：)
- ④予定はないが、導入・増設したい通信機器 (回答欄：)

1. 携帯電話	2. PHS	3. 衛星携帯電話	4. 消防救急無線
5. 防災行政無線	6. MCA無線	7. その他 ()	8. 特になし

枝問3-1 新たに通信機器を導入・増設する上での課題は何ですか。

(回答欄：)

- | | | | |
|----------|-------------|------------|---------|
| 1. 予算の確保 | 2. 無線従事者の確保 | 3. その他 () | 4. 特になし |
|----------|-------------|------------|---------|

質問は以上です。8月24日(水)までにFAXでご返信ください。ご協力ありがとうございました。

平成 23 年 8 月 10 日

東日本大震災における日本 DMAT の活動状況について

東日本大震災における日本 DMAT（以下「DMAT」という。）の活動状況について、厚生労働省医政局災害医療対策室 DMAT 事務局からご提供いただいたデータをもとに、平成 23 年 3 月 11 日から同年 3 月 22 日に活動した計 367 チーム（275 施設）の状況をまとめた。

なお、367 チーム（275 施設）のうち、ドクターヘリ・災害調査ヘリは 20 チーム（17 施設）だった。

1. チームの概要

(1) 所属都道府県

DMAT が所属する都道府県をみると、「東京都」が 22 チーム（8 施設）と最も多く、次いで「大阪府」が 20 チーム（14 施設）だった。

図表 1 所属都道府県別 施設数・派遣チーム数

所属 都道府県名	施設数	チーム数	うちドク ヘリ・災害 調査ヘリ	所属 都道府県名	施設数	チーム数	うちドク ヘリ・災害 調査ヘリ
北海道	12	15	2	滋賀県	8	9	0
青森県	5	7	1	京都府	8	11	0
岩手県	4	5	0	大阪府	14	20	1
宮城県	2	2	0	兵庫県	11	14	1
秋田県	8	14	0	奈良県	3	4	0
山形県	6	8	0	和歌山県	3	3	0
福島県	3	6	1	鳥取県	3	5	0
茨城県	10	6	0	島根県	3	4	0
栃木県	4	4	0	岡山県	4	4	0
群馬県	4	12	2	広島県	4	4	0
埼玉県	8	15	1	山口県	5	5	1
千葉県	9	13	1	徳島県	4	5	0
東京都	8	22	3	香川県	6	6	0
神奈川県	11	13	0	愛媛県	2	2	0
新潟県	9	12	0	高知県	4	4	1
富山県	6	6	0	福岡県	9	12	1
石川県	5	8	0	佐賀県	3	3	0
福井県	4	5	0	長崎県	3	3	0
山梨県	3	7	0	熊本県	3	4	0
長野県	10	14	1	大分県	8	8	0
岐阜県	8	9	1	宮崎県	2	2	0
静岡県	5	5	1	鹿児島県	3	3	0
愛知県	13	18	1	沖縄県	1	1	0
三重県	4	5	0	計	275	367	20

(2) 人数

チームの合計人数について有効な記載のあった 358 チーム¹⁾についてみると、DMAT として活動したメンバーの数は合計 1,690 人だった。都道府県別にみると、大阪府が 98 人、東京都が 86 人だった。

図表 2 所属都道府県別 DMAT の人数 (n=358)

所属 都道府県名	人数	所属 都道府県名	人数
北海道	76	滋賀県	49
青森県	33	京都府	44
岩手県	23	大阪府	98
宮城県	2	兵庫県	69
秋田県	48	奈良県	18
山形県	35	和歌山県	14
福島県	27	鳥取県	21
茨城県	22	島根県	24
栃木県	21	岡山県	22
群馬県	55	広島県	24
埼玉県	66	山口県	21
千葉県	63	徳島県	26
東京都	86	香川県	30
神奈川県	60	愛媛県	11
新潟県	52	高知県	19
富山県	30	福岡県	56
石川県	38	佐賀県	14
福井県	27	長崎県	14
山梨県	29	熊本県	19
長野県	56	大分県	36
岐阜県	46	宮崎県	8
静岡県	25	鹿児島県	18
愛知県	89	沖縄県	5
三重県	21	計	1,690

また、1 チームあたりの人数は、平均 4.7 人、中央値 5.0 人だった。

職種別に平均値をみると、医師が 1.6 人、看護師が 2.0 人、業務調整員が 1.5 人だった。

図表 3 1 チームあたりの人数 (数量) (n=362)

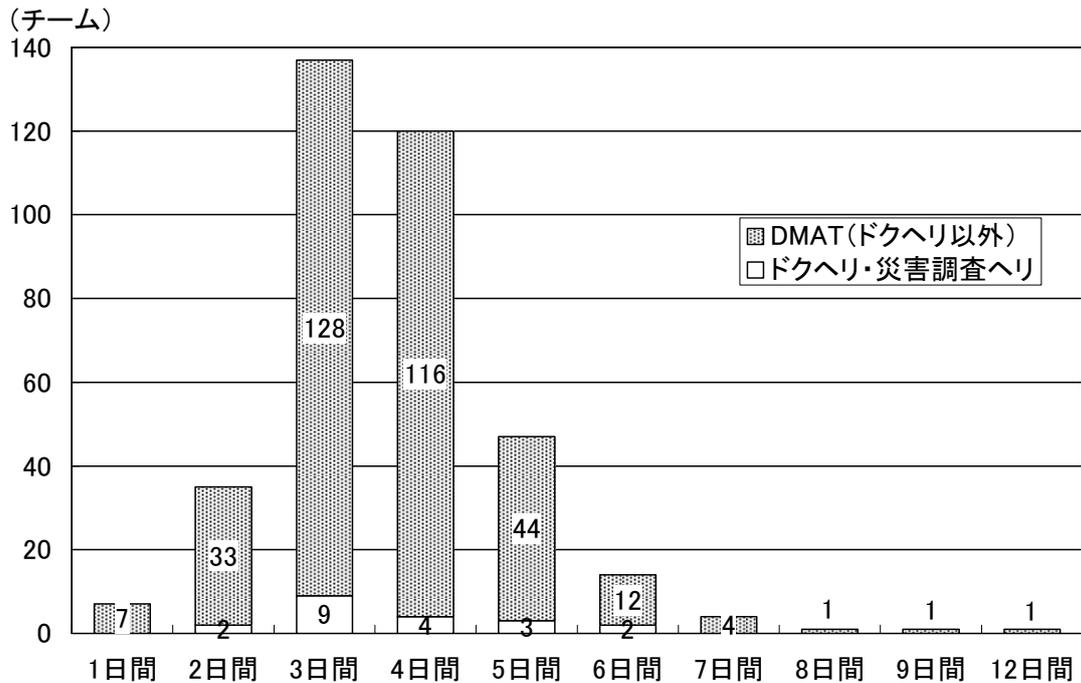
	回答件数	平均値	標準偏差	合計値	中央値	最大値	最小値
1 チームあ たりの人数	358	4.7	1.4	1,690	5	9	1
医師	325	1.6	0.6	512	2	5	1
看護師	325	2.0	0.7	602	2	5	1
業務調整員	325	1.5	0.6	412	1	4	1

¹⁾ チームの合計人数について記載のあった 362 チームから、看護師と業務調整員の人数の和をもって合計人数としている 4 チームを除いた。また、このうち、職種別内訳の記載があったのは 325 チームだった。

(3) 派遣期間（移動日を含む）

派遣期間は、「3日間」が137チーム（37.3%）、「4日間」が120チーム（32.7%）だった。派遣期間が48時間以内（「1日間」と「2日間」の和）のチーム数は、42チーム（11.4%）だった。

図表4 派遣期間別 派遣チーム数 (n=367)



(単位：チーム)

	合計	1日間	2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	7日間	8日間	9日間	12日間
全体	367 100.0%	7 1.9%	35 9.5%	137 37.3%	120 32.7%	47 12.8%	14 3.8%	4 1.1%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%
DMAT(ドクヘリ以外)	347 100.0%	7 2.0%	33 9.5%	128 36.9%	116 33.4%	44 12.7%	12 3.5%	4 1.2%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%
ドクヘリ	20 100.0%	0 0.0%	2 10.0%	9 45.0%	4 20.0%	3 15.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

注1) 派遣期間には、移動日を含む。

注2) 提供頂いたデータには「派遣期間」と「日にち別 活動場所」の項目があるが、両者の記載に齟齬がある場合、期間が長いほうの数字を採用した。(以下同様)

(4) 活動拠点

活動拠点は、「仙台医療センター」が79チームと最も多く、次いで「花巻空港」が74チームだった。域内拠点を都道府県別にみると、「岩手県」が133チーム、「宮城県」が115チーム、「福島県」が69チーム、茨城県が21チームだった。

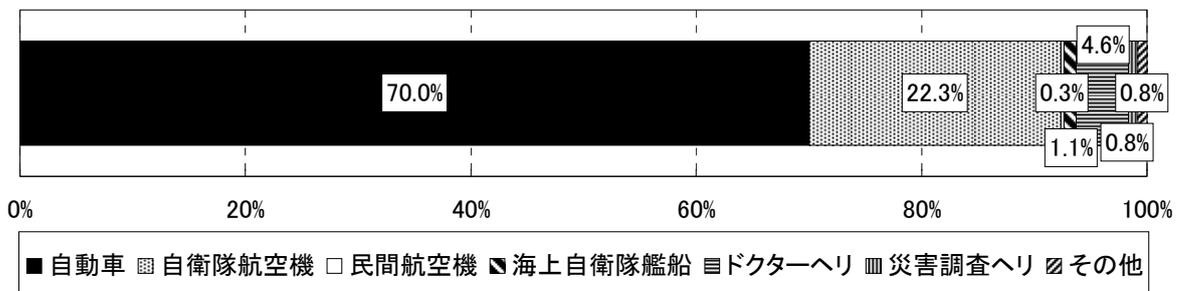
図表5 活動拠点別 派遣チーム数 (n=367)

		活動拠点	チーム数
域内	岩手県	岩手県調整本部	35
		岩手医大	17
		花巻空港	74
		岩手消防学校	7
		(小計)	(133)
	宮城県	宮城県調整本部	5
		仙台医療センター	79
		霞目基地	31
		(小計)	(115)
	福島県	福島県調整本部	21
		福島医大	30
		福島県立医大	3
		福島空港	15
		(小計)	(69)
	茨城県	筑波メディカルセンター	21
域外	千歳基地	9	
	入間基地	1	
	伊丹空港	3	
	福岡空港	9	
	羽田空港	4	
	(小計)	(26)	
DMAT事務局			1
無回答			2
総計			367

(5) 活動拠点までの移動手段

活動拠点までの移動手段は、「自動車」(257件、70.0%)、「自衛隊航空機」(82件、22.3%)の順に多かった。

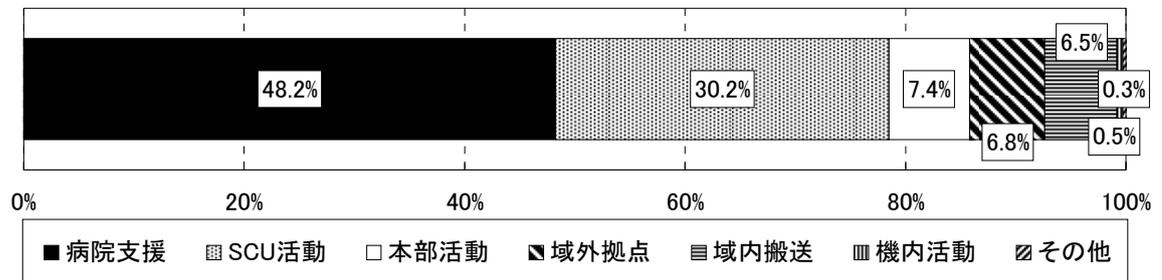
図表6 別活動拠点までの移動手段 (n=367)



(6) 活動内容

活動内容をみると、「病院支援」(177件、48.2%)が約半数を占めた。

図表7 活動内容 (n=367)

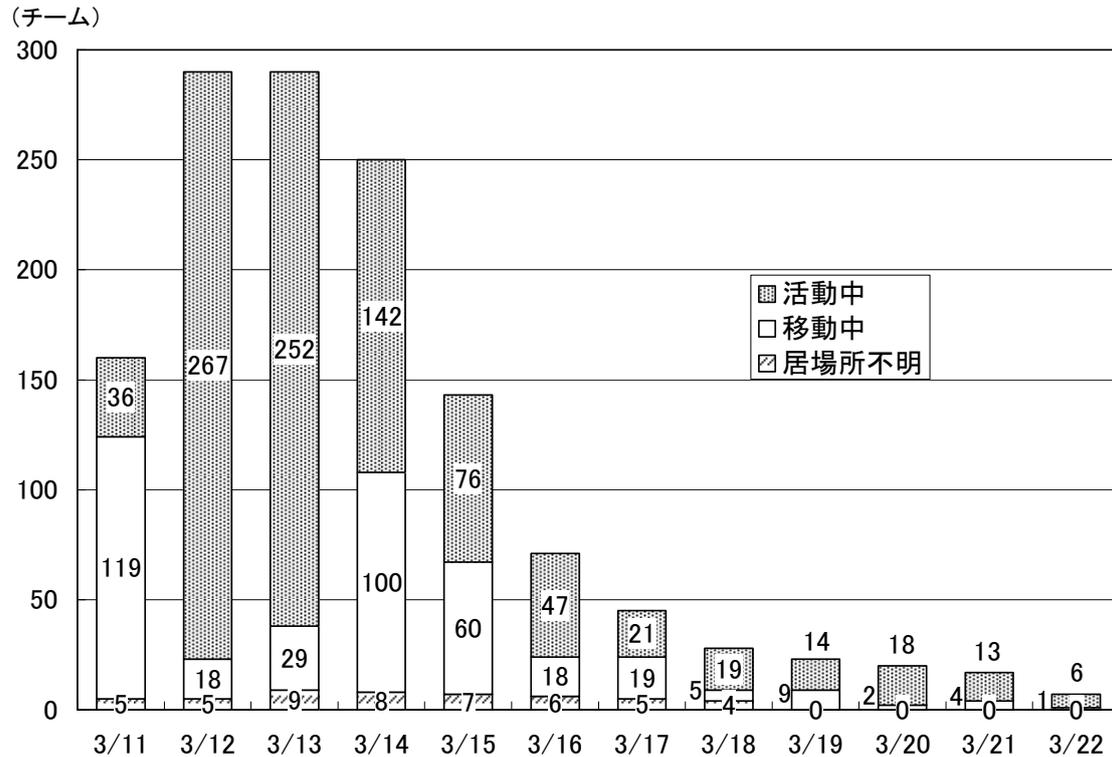


2. 活動日別の状況

(1) 日にち別 派遣チーム数

DMAT の活動状況を日にち別にみると、活動中のチーム数は、3月11日の段階では36チームだったが、3月12日には267チーム、3月13日には252チームに増加した。

図表8 日にち別 派遣チーム数 (n=367)



(単位：チーム)

	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22
全体	160	290	290	250	143	71	45	28	23	20	17	7
活動中	36	267	252	142	76	47	21	19	14	18	13	6
移動中	119	18	29	100	60	18	19	5	9	2	4	1
不明	5	5	9	8	7	6	5	4	0	0	0	0

(1) 日にち別・活動場所別 延べチーム数

3月11日から22日までの間に活動したDMATの延べチーム数は、1,344チームだった。

活動場所別にみると、「花巻空港」(延べ194チーム)、「仙台医療センター」(延べ138チーム)が比較的多かった。

図表9 日にち別・活動場所別 延べチーム数 (n=367)

		合計	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22
全体		1,344	160	290	290	250	143	71	45	28	23	20	17	7
域内 岩手県	岩手県調整本部	47	1	3	4	9	13	5	8	3	1	0	0	0
	岩手医科大学	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩手県立中央病院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩手県立久慈病院	7	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	釜石病院	33	0	6	7	7	4	3	1	5	0	0	0	0
	宮古病院	34	0	6	10	4	5	6	1	1	1	0	0	0
	大船渡病院	21	1	5	5	3	3	3	1	0	0	0	0	0
	二戸病院	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大槌病院	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	沼宮内病院	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	岩手消防学校	13	0	0	1	2	1	5	4	0	0	0	0	0
	花巻空港	194	1	63	67	44	13	3	2	1	0	0	0	0
宮城県	宮城県調整本部	19	1	4	5	3	3	3	0	0	0	0	0	0
	仙台医療センター	138	4	55	43	18	6	10	1	1	0	0	0	0
	仙台市立病院	7	0	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0
	石巻赤十字病院	17	0	0	8	6	1	1	1	0	0	0	0	0
	石巻総合運動公園	5	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	石巻市立病院	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	坂総合病院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大崎市民病院	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
霞目基地	70	1	27	28	7	7	0	0	0	0	0	0	0	

		合計	3/11	3/12	3/13	3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22
福島県	福島県調整本部	24	0	0	0	1	2	1	1	3	3	5	4	4
	福島医科大学	83	12	25	22	14	7	0	0	0	0	3	0	0
	磐城協立病院	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	白河病院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福島空港	28	1	14	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	いわき光洋高校	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	0
	川俣高校	7	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0
	飯館村	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
茨城県	筑波メディカルセンター	39	9	22	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	水戸協同病院	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サテライト鹿嶋	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	2
	百里基地	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
域外	千歳基地	27	0	9	9	6	3	0	0	0	0	0	0	0
	入間基地	5	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	秋田空港	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	羽田空港	11	0	3	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	伊丹空港	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福岡空港	17	0	8	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DMAT事務局	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
移動中	384	119	18	29	100	60	18	19	5	9	2	4	1	
活動場所不明	49	5	5	9	8	7	6	5	4	0	0	0	0	

以上